

令和5年住宅・土地統計調査単位区設定の実施について

令和5年に住宅・土地統計調査が実施されます。この調査の目的は、住宅および住宅以外で人が居住する建物に関する実態並びに現住居以外の住宅および土地の保有状況その他の住宅等に居住している世帯に関する実態を調査し、その現状と推移を全国および地域別に明らかにすることにより、住生活関連諸施策の基礎資料を得ることです。

そのため、この調査に先立ち、愛媛県知事が任命した指導員が、建物の数などの状況を実地で確認することで、調査区域を明確にし、調査の円滑な実施と結果精度の向上を図るために単位区設定調査を実施します。この単位区設定調査は、弓削、生名および岩城の一部地域で、令和5年1月16日(月)から令和5年2月6日(月)までの期間に実施します。顔写真付きの「指導員証」を携帯した指導員が現地踏査を行い、建物の状況を目視で確認する作業になります。外観から居住の有無を判断できない場合は、お住まいの皆さんに聞き取り調査を行うことがあります。ご迷惑をおかけしますが、調査へのご協力をお願いいたします。

問い合わせ 企画情報課 ☎ 0897-77-2500

魚島俳歌柳会【魚島】



魚島俳歌柳会は今年度で活動を終了することとなりました。これが最後の投稿となります。長い間のご愛読本当にありがとうございました。多くの方々に心より感謝し、厚く御礼申し上げます。

・寒桜咲いて和ます供養塔
・生のジャズ心も踊るひとときを能地典子
・水仙や待ち侘び匂う上り口田作京子
・生かされて生きてお陰を頂いて横井里津子
・お歳暮のハム恒例の五軒なる大林正憲
・野良猫の癒しベランダ冬日和

かみじま郷土話 17



岩城港から歩いて5分程の場所に、上島町指定文化財（建造物）である岩城郷土館（三浦邸）があります。島の旧家である三浦家の屋敷の一部を修復して保存した島本陣遺構です。本陣とは、参勤交代時に役人などの一部の身分が高い人が宿泊所や休憩所として利用した場所のことを指します。三浦家は、永正8年（1511年）に京都船岡山の合戦で戦死した三浦小三郎義胤の三男、新左衛門丞義高が備後三

島本陣三浦邸

原から当地に移動したのを初代とし、18代敏夫氏に至るまで、名家として瀬戸内海地域に広く知られた存在でした。

敏夫氏は短歌を趣味としていたことから、歌人である若山牧水や吉井勇と交流がありました。大正2年に岩城島を訪れた牧水が、三浦邸の別邸である聴松庵に逗留した時に即興で詠んだ短冊2枚の歌が現在にも郷土館に遺されている。他、牧水が敏夫氏を訪れる直前に宛てたはがきも遺されています。「～あこがれぬいたその島へ参ります。今治から打電します。とにかく参ります。大きな瀬の海、花葉の島、青葉の島、しきりと胸のそこが痛み始めました。」といったはがきの文面からは、岩城島に対する牧

水の思いが伝わってきます。

現在、上島町では資料館を設置する計画が進行しています。岩城郷土館の展示についても現在の様相を踏襲しつつ、より学習しやすいように更新したいと考えています。また、令和5年度には、岩城郷土館を中心とした近代の岩城島の歴史がテーマの上島町文化財講座を開催する予定です。どうか楽しみにお待ちください。



教育課
大地

2022年を振り返って

英会話教室	弓削 月 19:30～弓削地域交流センター
	生名 月 11:00～3分団集会所
	岩城 木 20:00～岩城総合支所庁舎

上島町の皆さん、こんにちは。
1月で日本に住んで5か月になりました。日本に来た8月から今までのことをお話します。

私は8月25日に岩城に来たので、夏祭りは体験できませんでした。でも、9月の運動会は楽しみでした。アメリカには運動会のようなものはありませんので、生徒たちが毎日一生懸命練習していることにびっくりしました。そして、運動会の日に私はコミュニティの強さを感じて、感動しました。

次に大きなイベントは秋祭りでした。祭りではだんじりをかくことができました。だんじりはとても重くて、私はあまり日本語が話せなかったので、コミュニケーションをとることが難しかったです。でも、岩城の方達は、私とコミュニケーションをとろうとしてくれて、私を歓迎してくれていることがよくわかりました。

11月23日の祝日では、近所の人や学生とおいしい日本食を食べました。私はアメリカでサンクスギビング（アメリカ合衆国やカナダで祝われる祝日、感謝祭）を過ごせなかったことにホームシックを感じていたので、彼らの親切に大変感謝しています。

週に一度、岩城保育所に行っています。12月、保育所の発表会でギターを弾きました。ゆずの「栄光の架橋」を子どもたちと一緒に演奏できて、とてもうれしかったです。

岩城小学校の5年生と6年生とは、一緒にしめ縄の作り方を学びました。最初は難しかったのですが、教えてくださった方々のおかげで、きれいなしめ縄を2本作って持って帰ることが

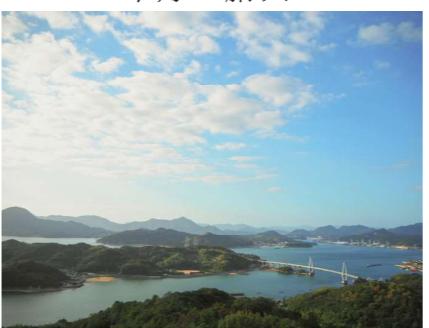
できました。私はアメリカでハロウィンやサンクスギビング、クリスマスを過ごせないのは少し寂しいですが、岩城での体験は素晴らしいものでした。いずれは日本各地を旅行したいと思っていますが、私が最も大切にしているのは地元・地域のイベントです。日本に来て数か月でいろいろな体験ができたことを幸せに思います。ニック



今月の担当 ALT
ニコラス・ペイツェル(岩城)

わたしの
上島旅

— 第33回 —
今月の旅人



Kさん 関東在住

初めて弓削島を訪れた時のきっかけは、音楽です。弓削島には、私

の敬愛するデイヴ・シンクレアさんというイギリス出身のミュージシャンが住んでいらっしゃいます。インタビューしたいと思ってご連絡したところ快くご承諾いただき、デイヴさんはじめ島の方々にとても温かく迎えていただきました。それ以来すっかり弓削島が好きになり、機会を見つけては訪れてています。

弓削島に行くときは列車やフェリーを乗り継ぐ長旅になりますが、旅の醍醐味を満喫できるこの旅路にいつもわくわくしています。特に船は楽しいです！穏やかな海に瀬戸内の島々が浮かぶ光景は、いつ見ても心が弾みます。

島に着くと、大体民宿「中塚」さんに泊まります。女将さんのお人柄と美味しいお魚料理が最高で、おばあちゃんの家に遊びに来たような安心感があります。そういうほっとできる雰囲気が島のあちこちで感じられるので、弓削島に来るといつものんびりした優しい気持ちになります。

私が大好きなデイヴさんの曲に、この島のことを歌った“Island of Dreams”という曲があります。本当にこの歌のとおりの素敵な場所です。これからも友人や家族と弓削島を訪れ、大切な時間を一緒に過ごしていきたいです！

上島町観光協会

<http://www.kamijima.info>